

# 事務局通信

〒151-0053

東京都渋谷区代々木 2-39-7 メゾン代々木 201 号

TEL03-3299-5276 FAX03-3299-5275

ホームページアドレス <http://www.hoshinren.jp>

e-mail [koho-hoshinren@tulip.ocn.ne.jp](mailto:koho-hoshinren@tulip.ocn.ne.jp)

107 号

平成 24 年 5 月 11 日

一般社団法人

鍼灸マッサージ師会

## 患者の皆さんと力を合わせ

### 100 万署名を成功させる知恵を総会に結集しましょう

昨年度も会員、理事、事務局の皆さんの御協力で、計画した事業を進めることができました。有難うございました。

#### ○伝統医療をめぐる世界の動き

中国、韓国は医療として定着し、ドイツ、アメリカ、イギリス、フランス等諸外国で、伝統医療を活用しています。こうした状況のなか、世界保健機構（WHO）では、伝統医療を医療として積極的に活用するため、各国、まちまちで行われている治療法を標準化しようと、2015 年を目標に資料を収集しています。3 月後半から、4 月初めにかけて訪問したキューバでも 70 歳以上の癌患者は、手術をしないで、鍼灸治療などの伝統医療で治療する方向で取り組んでいます。アメリカでも検討しているそうです。

#### ○日本の動き

国会では、税と社会保障の一体改革ということで、議論されていますが、中身は、医療費も国の負担を減らす方向です。鍼灸、マッサージ治療の療養費払いについても取り扱いを変えようとしません。さらに、各国と交渉が開始された TPP によって、アメリカの民間医療保険会社の圧力が強まれば、公的保険の取り扱いを縮小する可能性もあります。健康保険取扱いの拡充を求めているわたくしたちの要望にも反します。

#### ○私たちの運動について

医師の帯津良一氏や谷美智士氏は、西洋医療、東洋医療のそれぞれの良い点を活用することが、より効果的な医療の実現につながると著書で、提案しています。

以前から主張していますが、27 年前に出された当時の科学技術庁が出した研究報告で、鍼灸、マッサージ治療などの伝統医療を活用したら「・・・医療費の節約にもつながると考えられる」と提案しています。

厚生労働省は、こうした意見や提案を受けて、患者がはり、きゅう、あん摩、指圧、マッサージ治療を希望したら健康保険証を示して、受診できるようにする必要があります。このことを実現させるには、患者を中心にした世論を動かす大きな運動が必要です。関西から提案されている 100 万署名を成功させることが重要になってきました。NPO 医療を考える会の皆さん、全国の患者の皆さん、業界の皆さんと力を合わせ、取り組みましょう。総会で活発な討論を、お願いします。 高橋養藏

## 保険部会 23 年度活動報告及び 24 年度方針

平成 24 年 4 月 20 日 保険部 山口充子

### 23 年度の活動

1. 2011 年 4 月 埼玉県後期高齢者医療広域連合の通知  
懇談の報告より ①往療内訳書添付 ②口頭同意確認書  
など該当する会員が参加、討論する。 10 名
2. 2011 年 6 月 宮原弁護士と健康保険問題学習会 15 名  
①健康保険上の問題点について ②裁判からの教訓  
7 月 ①上記の健康保険改善制度について 5 名  
②保険部の役割について  
問題点を共有・学習を中心に会員に情報提供をすることを再確認
3. 10 月 保険者からの返戻について 1 名
4. 2012 年 2 月 不支給通知の内容 5 名  
①医科との併給問題—鍼灸 ②東日本罹患者の治療費—償還払い  
③往療費に対する問題点など  
④同意書発行拒否—医師会の圧力（狭山市）など
5. 今年度の活動費 参加者の日当と交通費 約 5 万円使用

### 24 年度の活動について

同意書問題・往療費問題・不支給問題・委任拒否など引き続き取り組む  
必要があります。

学びあい経験交流から教訓を引出し、力にしていきたいと思えます。

会員の参加を増やす。（予算 7 万円）

部会での情報交換や問題の検討が健康保険制度、療養費支給の現状を学ぶ大切な場  
です。保険者にきちんと意見が言えるように、医師や患者の方々に問題点を説明できる  
ように勉強していきましょう。

部員として部会活動へのご協力をいただける方を募集していますのでよろしくお願  
いいたします。



保険部会 埼玉県後期高齢者医療連合問題検討会

# 広報部活動方針

平成 24 年 4 月 18 日

広報部 荒木 晶子

鍼灸、按摩マッサージ指圧治療における健康保険制度改善運動の推進のためのパンフレットおよび小冊子を作成する。

- パンフレット～要望書とともにして、署名運動を推進のため健康保険制度の問題について理解を広げるため、見やすく、解りやすい文書の作成をめざす。
  - \* 同意書を医師が書きたがらない。
  - \* 医師に受診している病気は、健康保険で東洋医療にかかれない。
  - \* 健康保険で東洋医療にかかったとき、立て替え払いではなく委任払いで受診できるようにしてほしい。 などなど。
  - \* 予算 250,000 円
  
- 小冊子～1 問 1 答の形式で作成する。
  - \* 制度改善運動を推進する理解者を広げる文書。
  - \* 鍼灸、按摩マッサージ指圧治療を受けた患者さんの感想、要望を掲載する。なぜ東洋医療を選んだのか、患者さんの体験にもとづく東洋医療の長所を明らかにする。
  - \* 東洋医療の効果、役割を国内外の医師、または鍼灸師、按摩マッサージ指圧師のみなさんが、すでに発表している記事、著書からのせる。
  - \* 予算 500,000 円
  
- 施術者の症例報告、患者さんの東洋医療の感想、意見の募集
  - \* パンフレットへの掲載のため、施術者の症例報告、患者さんの東洋医療の感想、意見を募集した。引き続き集約を続けて発表できるようにしたいので、会員みなさまのご協力をお願いする。
  
- 会報、事務局通信への投稿のお願い。
  - \* 会報、事務局通信への投稿にたいして謝礼金を支払う。1000 字まで 3000 円、1001 字より 2000 字まで 4000 円、2001 字以上は 5000 円を広報活動への協力の謝礼として予算を計上してきた。今期も引き続き実施していきたい。



# 在宅ケア部活動方針

平成 24 年 4 月 25 日

在宅ケア部長 木下 典久

## 2011 年度活動まとめ

### ①重い病人について基礎的知識と主な注意点 22 名参加

講師、沖山明彦医師は西洋医学かつ東洋医学と併せて治療を実践されている。早くから在宅医療にも手がけて業界屈指のスペシャリストだと感じました。鍼灸マッサージにも深く理解のある医師だと感じました。昨今の医療現場は病院から在宅へと大きく変化を遂げていて、身体的にも環境的にも困難を抱えた居宅療養者在宅で医療機器や、管を装着している患者が増えている現実を直視して、鍼灸マッサージ師としてどこまでアプローチできるか、身体的、精神的治療ケアが大切になってくると実感しました。と共に責任も重くなるなって思いました。

### ②在宅患者の筋力低下防止リハビリ 27 名参加

講師、井上美幸理学療法士により、離床、運動療法、呼吸リハビリの 3 点について詳しく、かつ分かりやすく解説、実技を行っていただきました。井上先生は慈恵医大品川本院で 8 年間勤務され、臨床経験豊かな先生で(株)アール・シー代表取締役という方にもかかわらず、受講者とどこか混同してしまうような出で立ちで、距離を感じさせないとっても魅力的な先生です。軽快な語り口で会場は一瞬にして楽しい雰囲気になっていました。井上先生が手取足取りで受講者ペアになって、真剣に勉強している姿が印象的でした。

### ③パーキンソン病治療の実際 21 名参加

講師、相葉計佳先生により、パーキンソン病のこれまでの貴重な経験から鍼灸と黒田光線療法の併用で、治療実績、治療効果をあげている。パーキンソン病にとどまらず、癌、高次脳機能障害等の難病にも広く手がけて臨床経験豊かで業界きっての治療家だと信じております。

鍼灸では任脈、督脈を中心に取穴では特に頭部を重視、他には腹部、腰背部、四肢に至るまで全身を良く観察して下さい。望聞問切を強調されていました。受講者は鍼がどの位の深さなのかどの位の角度で刺入するのか真剣にメモをとっていました。相葉先生は「僕にできて、皆さんに出来ないわけがない」との、いつもながら確信のある言葉には深く感銘しました。

## 在宅ケア部 2012 年度の方針

在宅治療の質を高めて患者さんから信頼が得られるような治療家を目指そう。

<1>在宅ケア研修会 年 3 回予定

6 月 3 日 「呼吸リハ、骨折後療法（特に股関節）評価表の記入法」  
講師 井上美幸先生

10 月 28 日 「脳血管障害について」  
講師 未定（ドクターを予定）

2013 年 2 月 3 日 「口腔ケア」  
講師 未定（歯科医師予定）



<2>在宅ケア部役員会 年4~5回予定

会員さんおひとりおひとりが（各々が）地域に根ざし、地域から又、患者さんから信頼が得られるような治療家を目指して共に学び、後輩に伝えていけるように研鑽を積んでいく。

在宅ケア部 2012年度予算案（2012年4月~2013年3月）

◎ 在宅ケア研修会費 年3回として

○ 講師料	
会員が講師の場合、1開催2人予定（10分で1,000円と計算）	
（6,000円×2人）×3回	36,000円
外部からの講師の場合、1人分	
ドクター（50,000円×2人）	100,000円
理学療法士（30,000円×1人）	30,000円
○ 役員手当て（半日3,000円として）	
（3,000円×6人）×3回	54,000円
○ 会場費（中野勤労福祉会館が取れないとき）	5,000円
○ 案内書作成費（1,000円×3回）	3,000円
○ 資料コピー代（1,000円×3回）	3,000円
○ 当日お茶代（1,000円×3回）	3,000円
○ 役員会費5回として（2,000円×6人）×5回	60,000円
○ 予備費	56,000円
	総合計 314,000円

※なお、予算案の中で、現在作成中の在宅テキスト代の後期支払分として150,000円を計上しております。それを含めると総合計 464,000円となります。

また、講師料として今年度は会員の講師の予定はないので、36,000円の予算は省いております。



在宅ケア部会 研修会 講師 井上理学療法士

# 在宅リハビリマッサージ事業部の年

24/4/22 在宅リハビリマッサージ事業部長 松本泰司

## 事業部の目的

事情部は附属治療院及び訪問マッサージに関し、地域の需要を掘り起こし、一定の技術レベルを持った会員に訪問マッサージの仕事を提供する。

### 具体的方針

① 区や包括が主催するケアマネ研修会に参加し、包括との関係性を構築し、地域の訪問マッサージの患者さんを獲得する。

ア 原宿の丘地域包括が H24/4/1 で、「ニチイ」から「やさしい手」になった。「やさしい手」自体が訪問マッサージ部門を持ってサービスを囲い込んでいるため、原宿の丘以外の包括との接点を増やす。

イ H23 年度は会員の皆様に計 10～12 件の患者さんの紹介・取次をすることが出来ました。これには草薙理事が大きく貢献してくださいました。

また施術師を探している訪問マッサージ事業者に、仕事が全く無い非会員の 4 名の先生を仲介しました。このうち 2 名は正会員になりました。残り 2 名は 5 月に団体会員になる予定です。

② 変形徒手矯正術研修会を年 3 回開催する。

ア H24 年度から変形徒手矯正術研修会の開催数が、年 6 回から年 3 回になります。主な理由は大変形徒手矯正術を履修した会員が増え、研修が一巡している事情があります。

H23 年度の研修で会員個々の治療技術の向上が図られ、アンケート等により臨床に反映されている実状が伺えます。

③ 附属治療院の集客を高めるため、自己作成のチラシ配布を再開する。

ア 申請業務やセミナー等の仕事により、月の第 1 週は施術を断る関係もあり、通院している患者さんがその期間を境に、通院しなくなる事例が 2～3 件あり、患者数は伸びていません。事務局と話をし、施術所休業期間の縮小を図りたいと考えています。



在宅リハビリマッサージ事業部 研修会 講師 清水事務局長